〒904－0324　沖縄市知花5丁目19－57
TEL:098－932－3211

9月 ちばなハイサイ子育てだより

9月に入っても、厳しい暑さが続いています。皆さん、体調管理に気を配りながら日々の生活を過ごされていることと思います。

沖縄県では8月に緊急事態宣言が出され、緊迫した状況の中、徹底した感染予防対策が求められています。

保育園でも、子ども達が安心･安全に園生活が送れるよう、徹底した感染予防に取り組んでいます。

引き続き9月も体調面に気を配りながら、楽しく元気に過ごしていきたいと思います。よろしくお願いします。

簡単親子製作

フォトフレーム

※材料
- 厚紙（段ボールでもOK）
- プ　・
- 折り紙
- 写真や絵はがきサイズの透明フィルムの袋

※使うもの
- 両面テー
- はさみ
- カッター

① はじめにフレーム部分をつくる。
（厚紙を20cm×20cm程の正方形と、幅10cm程の長方形に切る。）

② 正方形の厚紙の真ん中を、用意したフィルム袋より2、3cm程小さく切り抜く。

③ 2に切ったりちぎったりした折り紙などを貼って飾り付ける。

④ フィルム袋片面の四方に両面テープを貼る。（なければセロハンテープを丸めたものでもOK）

⑤ 正方形の厚紙の裏面に4を貼りつける。（フィルム袋の口は上でも横でもOK。）

⑥ 長方形の厚紙は長い方の辺を半分に折って、折り目をつける。
折り目からさらに半分の位置2か所に5cm程切込みを入れる。

⑦ 6を折り目に合わせて真ん中で軽くまげ、切りこみに5のフレームを挿したら、できあがり！

敬老の日のプレゼントにもおすすめ❣

9月の行事予定

9月1日　ナカビー
9月2日　ウークイ
9月21日　敬老の日
9月22日　秋分の日

感染症による「夏風邪」に注意！　夏に多い子どもの病気

夏に子どもがよくかかる「夏風邪」と呼ばれるものには、

ヘルパンギーナ、手足口病、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎の主に4つがあります。日常生活で気を付けていれば予防できることもあるので、子どもを夏風邪から守るために、特徴や対処法を学びましょう。

夏に蔓延する2大ウイルス

夏に多く流行する主な病気は、エンテロウイルスとアデノウイルスというウイルスが原因で発症します。

病名	かかりやすい年齢	原因	症状
手足口病	2～3歳	エンテロウイルス	38～39度の発熱 手のひら、足、口の粘膜などに 5～7㎜の小さな水疱
ヘルペンギーナ	0～4歳	エンテロウイルス	発熱 上あごの奥に周囲が赤くなった 1～数mmの小さな水疱
咽頭結膜熱(プール熱)	1～5歳	アデノウイルス	・発熱　・咽頭通 ・扁桃腺の腫れ　・目やに
流行性結膜炎	1～5歳 ＊成人も含め、幅広い年齢で発症	アデノウイルス	・結膜の浮腫（むくみ） ・まぶたの浮腫 ・(サラサラした)目やに ・涙

「夏風邪」のポイント

ポイント１．　突然の発症も時間とともに回復

症状はさまざまですが、休養と栄養、水分をとっていれば自然に回復していきます。過度に心配せず、かかりつけの医師を受診しましょう。

ポイント２．感染を広げない予防対策を徹底

飛沫感染、接触感染を防ぐためには、うがいと手洗いが基本です。水泳の前後には必ずシャワー、洗眼を。タオルの共有を避けましょう。

ポイント3.　病気が回復しても油断は禁物

症状は数日～1週間で自然治癒しますが、ウイルスは、しばらく便などの排泄物、家具の表面などに残っているので、要注意です。

9月と言えば、、、十五夜。お月見と思い浮かべるかと思いますが、今年の十五夜は10月1日になります。
十五夜は”中秋の名月(ちゅうしゅうのめいげつ)”とも呼ばれ、「秋の真ん中に出る月」という意味があります。

十五夜の月見が盛んになったのは、平安時代。貞観年間(859～877年)ごろに中国から伝わり、貴族の間に広まりました。月を見ながら酒を酌み交わし、船の上で詩歌や管弦に親しむ風流な催しだったそうです。貴族たちは空を見上げて月を眺めるのではなく、水面や盃の酒に映った月を愛でました。庶民も広く十五夜を楽しむようになったのは、江戸時代に入ってからだといわれます。貴族のようにただ月を眺めるのではなく、収穫祭や初穂祭の意味合いが大きかったようです。

十五夜のころは稲が育ち、間もなく収穫が始まる時期。無事に収穫できる喜びを分かち合い、感謝する日でもありました。

沖縄の十五夜では、「ふちゃぎ」と言う餅に豆が付いた食べ物を仏壇に供えたり、食べたりするのが一般的です。

ぜひ、お子さんと十五夜の話をしながら、お月見を楽しんでください！

もし子どもの体調などで不安を感じたら・・・

こども医療でんわ相談

発熱、頭をぶつけた、嘔吐、けいれんなど　判断に困ったら

#8000

★ こども医療電話相談事業【#8000事業】とは

★保護者の方が、休日・夜間のこどもの症状にどのように対処したら良いのか、病院を受診した方がよいのかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師に電話で相談できるものです。

★この事業は全国同一の短縮番号＃8000をプッシュすることにより、お住まいの都道府県の相談窓口に自動転送され、小児科医師・看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院等のアドバイスを受けられます。

★ #8000の使い方

それいけ!アンパンマン
©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

絵本の紹介

「はらぺこあおむし」でお馴染みのエリック・カール作品。

窓から月を眺めていた女の子が言います。”パパ、お月さまとって”・・・と。

果たして、パパはどうするのでしょうか？

絵本を読み終えたら、”お月さま、とって！”とせがまれちゃうかも！？

今夜は十五夜。みんなで、木の上に、お月見台を作って、ごちそうも並べます。

14ひきのねずみの家族が、一緒にお月見を楽しむお話です。